

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公表番号】特表 2016-527352 (P2016-527352A)

【公表日】平成 28 年 9 月 8 日 (2016.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2016-054

【出願番号】特願 2016-528371 (P2016-528371)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/5313 (2006.01)

C 0 8 K 5/32 (2006.01)

C 0 8 L 23/26 (2006.01)

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/5313

C 0 8 K 5/32

C 0 8 L 23/26

C 0 8 L 23/00

C 0 8 J 5/18 C E R

C 0 8 J 5/18 C E S

C 0 8 J 5/18 C E Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 26 日 (2019.7.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 4 】

好ましくは、成分 B は、脂肪酸 - 2 , 2 , 6 , 6 - テトラメチルピペリジン - 4 - イル - ヘキサデカノエート及び 2 , 2 , 6 , 6 - テトラメチルピペリジン - 4 - イル - オクタデカノエートと酸化ポリエチレンとの次の一般的な構造を有する反応生成物である

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

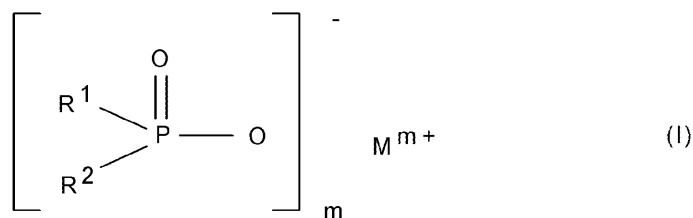
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

成分 (A) として、 $10\ \mu\text{m}$ 未満の粒度 d_{50} を有する、微細に分割した次の式 (I) のホスフィン酸塩及び / 又はそのポリマー、

【化 1】



(式中、

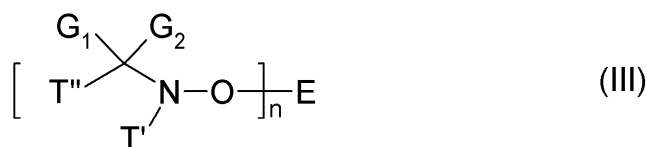
R^1 、 R^2 は、同一又は異なって、線状又は分岐状の C_1 - C_6 - アルキル及び / 又はアリール；

M は、 Mg 、 Ca 、 Al 、 Sb 、 Sn 、 Ge 、 Ti 、 Fe 、 Zr 、 Ce 、 Bi 、 Sr 、 Mn 、 Li 、 Na 、 K 及び / 又はプロトン化窒素塩基；

m は、1 ~ 4 を意味する。）、

成分 (B) として、式 (III) で表されるアミノエーテル、

【化 2】



(式中、

n は、 E 中の C 原子の数よりも小さいか又は同じであることができ、そして、

E は、 C_1 - ~ $\text{C}_{1000000}$ - アルキル又は C_5 - C_6 - シクロアルキルを意味し、その際、アルキル鎖は、アルキル置換基、芳香族置換基及び極性基を置換基として含むことができ、そして、アルケン単位及び / 又はヘテロ原子を介在させることができ；

その際、

G_1 及び G_2 は、同一又は異なることができ、そして、互いに独立して、水素、ハロゲン、 NO_2 、シアノ、 CONR_5R_6 、 $(\text{R}_9)\text{COOR}_4$ 、 $\text{C}(\text{O})-\text{R}_7$ 、 OR_8 、 SR_8 、 NHR_8 、 $\text{N}(\text{R}_{18})_2$ 、カルバモイル、ジ(C_1 - C_{18} - アルキル) - カルバモイル、 $\text{C}(=\text{NR}_5)(\text{NHR}_6)$ 、 C_1 - C_{18} - アルキル； C_3 - C_{18} - アルケニル； C_3 - C_{18} - アルキニル、 C_7 - C_9 - フェニルアルキル、 C_3 - C_{12} - シクロアルキル又は C_2 - C_{12} - ヘテロシクロアルキル；

少なくとも一つの O 原子及び / 又は $-\text{NR}_5-$ が介在した C_2 - C_{18} - アルキル；

C_6 - C_{10} - アリール；

C_1 - C_4 - アルキル、 C_1 - C_4 - アルコキシ、 C_1 - C_4 - アルキルチオ、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシ、カルボキシ、 COOR_{21} 、 $\text{C}(\text{O})-\text{R}_{22}$ 、 C_1 - C_4 - アルキルアミノ又はジ(C_1 - C_4 - アルキル)アミノによってそれぞれ置換されたフェニル又はナフチルを意味するか；又は、

G_1 及び G_2 は、 C 原子により一緒に結合して C_3 - C_{12} - 環を形成し；

T' は、水素、一級 C_1 - C_{18} アルキル - 、二級 C_3 - C_{18} アルキル - 、三級 C_4 - C_{18} - アルキル - 又はフェニル基であり、いずれの場合も、置換されていないか又はハロゲン、 OH 、 COOR_{21} 又は $\text{C}(\text{O})-\text{R}_{22}$ で置換されている；又は C_5 - C_{12} - シクロアルキル又は少なくとも一つの O 又は $-\text{N}(\text{R}_{18})-$ が介在した C_5 - C_{12} - シクロアルキル；又は 7 ~ 18 個の C 原子を有する多環式アルキルラジカルか、又は少なくとも一つの $-\text{O}-$ 又は $-\text{N}(\text{R}_{18})-$ が介在した同じラジカル；又は T' は $\text{C}-(\text{G}_1)(\text{G}_2)-\text{T}''$ であり；

T'' は、水素、ハロゲン、 NO_2 、シアノ又は 1 ~ 50 個の C 原子を有する一価の有機ラジカル；又は T'' 及び T' は一緒に二価の有機結合基を形成し、該結合基は、立体障害アミン - 窒素原子及び G_1 及び G_2 によって置換された四級の C 原子と一緒に、任意に置換された 5 員環又は 6 員環の構造を形成し、及び

R_4 は、水素、 C_1 - C_{18} - アルキル、フェニル、アルカリ金属イオン又はテトラアル

キルアンモニウムカチオン；

R_5 及び R_6 は、互いに独立して、水素、 $C_1 - C_{18}$ - アルキル、ヒドロキシで置換された $C_2 - C_{18}$ - アルキル、又は一緒に、 $C_2 - C_{12}$ - アルキレンブリッジ、又は - O - 又は / 及び - N (R_{18}) - が介在した $C_2 - C_{12}$ - アルキレンブリッジを形成し；

R_7 は、水素、 $C_1 - C_{18}$ - アルキル又は $C_6 - C_{10}$ - アリール；

R_8 は、水素、 $C_1 - C_{18}$ - アルキル又は $C_2 - C_{18}$ - ヒドロキシアルキル；

R_9 は、 $C_1 - C_{12}$ - アルキレン又は結合；

R_{18} は、非置換の、又はハロゲン、OH、 $COOR_{21}$ 又は $C(O) - R_{22}$ によって置換された $C_1 - C_{12}$ - アルキル又はフェニル；

R_{21} は、水素、アルカリ金属原子又は $C_1 - C_{18}$ - アルキル；

R_{22} は、 $C_1 - C_{18}$ - アルキルを意味する。) ； 及び、

成分 (C) として、熱可塑性ポリマー、を含む組成物であって、

成分 (A) を 0.5 ~ 5 重量%で、成分 (B) を 1 ~ 2 重量%で、そして成分 (C) を 93 ~ 99.3 重量%で含有し、成分 (A)、(B) および (C) の合計が 100 重量%である組成物。

【請求項 2】

R^1 、 R^2 が同一又は異なっており、そしてメチル、エチル、*n*-プロピル、イソプロピル、*n*-ブチル、*tert*-ブチル、*n*-ペンチル及び / 又はフェニルを意味することを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記成分 (A) の平均粒度 d_{50} が、5 μm 未満であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

E が、 $C_{60} - \sim C_{100000000}$ - アルキルを意味することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の組成物。

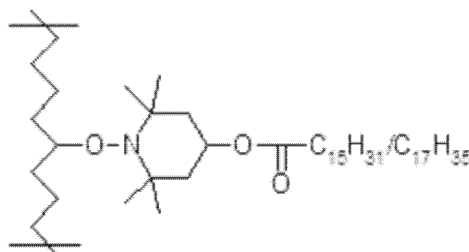
【請求項 5】

成分 (A) において、M が同じくアルミニウムであることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一つに記載の組成物。

【請求項 6】

成分 B が、脂肪酸 - 2, 2, 6, 6 - テトラメチルピペリジン - 4 - イル - ヘキサデカノエート及び 2, 2, 6, 6 - テトラメチルピペリジン - 4 - イル - オクタデカノエートと酸化ポリエチレンとの次の一般的な構造を有する反応生成物であることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の組成物。

【化 3】



(式中、 $C_{15}/_{17}$ は、主成分を意味し、そして、N - O - におけるアルキル残基は、約 2000 の平均分子量を有する。)

【請求項 7】

成分 (A) を 0.5 ~ 5 重量%で、成分 (B) を 1 ~ 2 重量%で、そして成分 (C) を 93 ~ 98.5 重量%で含有することを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の組成物。

【請求項 8】

前記熱可塑性ポリマーがポリオレフィンであることを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のい

れか一つに記載の組成物。

【請求項 9】

繊維または厚さ 50 ~ 500 μm の透明フィルムに加工されることを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一つに記載の組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一つに記載の組成物を用いて製造された成形物品、フィルム又は繊維。